

## 挑む!

ガンバ大阪強化部

山口 智さん(38)

## ピッチ駆け20年 次は組織作り

今季、サッカーのガンバ大阪に帰ってきた。チームの補強策を考えたり、対戦相手の状態を見定めたりする強化部の一員として支える。主に将来のガンバを背負う若手が集まるU23（23歳以下）を担当している。

17歳だった1996年、ジェフ市原（いまのジェフ千葉）でプロの一步を踏み出した。史上初の高校生Jリーガーとして注目された。2001年にガンバ入り。守りの要として活躍し、05年のリーグ初制覇、08年のアジア・チ

ャンピオンズリーグ優勝などのタイトル獲得に貢献した。ガンバで11年過ごした後、ジェフ、京都サンガでプレーし、昨年現役を退いた。決意を後押ししたのは「思い入れの強いガンバに声をかけてもらったから」。新たな挑戦に向け、スタッフの道を選んだ。

日本代表にも選ばれ、20年もピッチに立ち続けたのは異例。高校からプロ経験を積んだからこそ、若手に伝えたいことがある。「注目されても勘違いせず、生き残るために必死さとハングリ―さを」。驕り（ヒョウリ）で自ら夢を閉ざしてしまつた選手を数多く見てきた。

自身の目標は監督だ。強化部は選手を直接指導する立場ではなく、一見遠回りのようだが、「強化部の役割はチームづくり。組織全体を知ることが将来につながる」と前を見据える。

文・大西史恭 写真・滝沢美穂子



高知県出身。日本代表や世代別代表にたびたび選ばれ、2000年のシドニー五輪は予備登録選手。J1通算448試合出場は歴代10位の記録。

記者から

酸いも甘いも詰まった20年のキャリア。日本サッカー界を引っ張る指導者になってほしい。